

第4章 安全・安心



1 防災・減災

施策の展開方向

- 国土強靱化地域計画に基づき、災害に強いまちづくりに努めます。
- 防災拠点となる市庁舎(本庁舎・新世紀センター※)を核とした防災体制の強化に努めます。
- 防災・災害情報の迅速な情報発信に努めます。
- 自主防災組織※の育成・支援などにより、地域防災力(自助・近助・互助・共助)の向上に努めます。
- 避難行動要支援者など、災害弱者の支援体制の強化に努めます。
- 地域の安全・安心を支える消防団活動の環境整備に努めます。
- 災害時には、地域防災計画、業務継続計画(BCP)、災害時受援計画に基づき、行政運営の継続や早期の復興など、防災・減災対策に努めます。
- 災害発生時において、避難者が安心して生活することができる避難所の運営に努めます。

主要施策

- 1 河川改修事業の促進
- 2 急傾斜地崩壊防止事業の推進
- 3 治山・砂防事業の推進
- 4 都市雨水排水施設のストックマネジメント計画※に基づく計画的な改築・更新および浸水被害に関する住民への周知強化
- 5 防災情報伝達システム、鹿島市ホームページ、ケーブルテレビ等を活用した情報提供
- 6 消防、警察をはじめ国、県等の防災・消防に関係する各機関の連携維持・強化
- 7 災害ボランティアセンターとの連携および災害ボランティアの育成、支援
- 8 地域防災力(自助・近助・互助・共助)の向上
- 9 消防団活動の環境整備
- 10 指定緊急避難場所※の見直し

◆目標を定めて5年間で集中して取り組む施策(目標値年度は令和7年度)

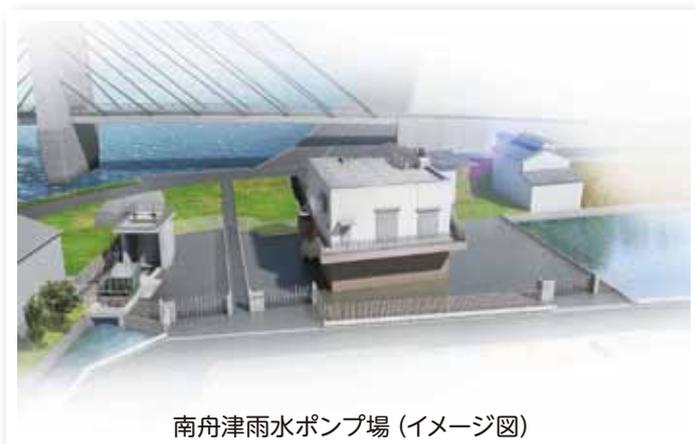
	施策名	目標・指標等	総合戦略該当
4	都市雨水排水施設のストックマネジメント計画※に基づく計画的な改築・更新および浸水被害に関する住民への周知強化	<ul style="list-style-type: none"> ・中牟田雨水ポンプ場改築 令和2年度～4年度 ・南舟津雨水ポンプ場更新 令和2年度～5年度 ・中村雨水ポンプ場改築 令和5年度～ 	まち・ひと・しごと
		<ul style="list-style-type: none"> ・内水ハザードマップ作成 令和4年度 	まち・ひと・しごと
8	地域防災力(自助・近助・互助・共助)の向上	自主防災組織※等の地域を主体とした防災研修および防災訓練の実施 20回/年	まち・ひと・しごと



地域防災リーダー研修



防災訓練(負傷者運搬)



南舟津雨水ポンプ場(イメージ図)

※マークは資料編の用語解説に説明あり。

2 交通安全・防犯

施策の展開方向

- 交通安全や防犯など暮らしの中の安全・安心に努めます。
- 警察など関係機関と協力して、犯罪被害者等への支援体制の連携を図ります。

主要施策

- 1 交通安全意識の高揚
- 2 犯罪が起きにくい地域づくり
- 3 老朽危険空き家の対応

◆目標を定めて5年間で集中して取り組む施策(目標値年度は令和7年度)

	施策名	目標・指標等	総合戦略該当
2	犯罪が起きにくい地域づくり	子どもの通学路や遊び場等への防犯カメラの設置 10箇所(5年間)	まち・ひと・しごと



交通安全教室(小学生)



園児と高齢者を対象とした交通講話



3 感染症対策

施策の展開方向

- 感染症対策を考慮した災害用備蓄物資の整備に努めます。
- 新型コロナウイルス感染症などから市民の生命と生活を守るため、相談体制の充実と関係機関との連携強化に努めます。

主要施策

- 1 感染症対策を考慮した災害用備蓄物資の整備
- 2 新型コロナウイルス感染症などに関する適切な情報発信と相談体制の充実
- 3 感染症に対する市民の安全・安心の確保のため関係機関との連携強化
- 4 「新しい生活様式[※]」を踏まえ、一人ひとりができる感染症対策の正しい知識の啓発

◆目標を定めて5年間で集中して取り組む施策(目標値年度は令和7年度)

	施策名	目標・指標等	総合戦略該当
1	感染症対策を考慮した災害用備蓄物資の整備	災害時想定避難者数(人口の5%)の備蓄品の整備 27品目(R1年度末)→37品目	まち・ひと・しごと



備蓄品一覧



パーティション



サーマルカメラによる検温

※マークは資料編の用語解説に説明あり。